

登録コード	SSC13500	開講年度	2026				
授業題目	分子合成化学					担当教員	中野 健央
英文授業名	Chemistry of Organic Syntheses					副担当	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	火曜・2時限		
講義室	理学部第5講義室					備考	
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】				【授業の達成目標】		
	2 4 SSカリ・理学						有機反応における立体選択性および与えられる化合物の立体構造に関する高度な知識を修得し、それらが関係する最新の合成研究について調査・理解できるようになる。
	～24SS【DP3】それぞれの研究分野における高度な専門的知識とグローバルな情報収集・発信能力						
	2 6 SSカリ・理学、 2 5 SSカリ・理学						
	【DP3】さまざまな課題に対処できる高い情報収集・分析能力とグローバルな情報発信能力						
(2)授業の概要	有機反応を活用した合成化学について解説する。特に、炭素－炭素結合形成反応における立体化学について解説する。また、立体選択性を活用した天然物の全合成についても取り扱う。						
(3)授業のキーワード	有機合成化学、逆合成解析、立体化学、全合成						
(4)授業計画	第1回：ガイダンス 第2,3回：逆合成解析 第4,5回：二重結合の立体化学 第6,7回：環状化合物の立体選択性 第8,9回：ジアステレオ選択性 第10,11回：不斉合成 第12,13回：分光法による立体化学の決定 第14,15回：天然物の全合成						
(5)成績評価の方法	出席状況およびレポート課題により評価する。						
(6)成績評価の基準	レポート課題において、 標準的な問題が解けば（得点率60－69%）「水準にある」（可） 応用問題が解ければ（得点率70－79%）「水準よりやや上にある」（良） やや難しい応用問題が解けば（得点率80－89%）「水準よりかなり上にある」（優） 難しい応用問題が解ければ（得点率90－100%）「水準より卓越している」（秀）と判定する。 ただし、遅刻・欠席は減点とする。						
(7)事前事後学習の内容	適時、指示をする。						
(8)履修上の注意	有機化学の十分な知識と理解を必要とする。 本講義は隔年開講です。令和8年度は開講、令和9年度は不開講とします。						
(9)質問,相談への対応	随時対応する。						
【教科書】	指定しない。						
【参考書】	適宜、紹介する。						